明治二十年四月十五日出版
明治二十年六月十五日再版

毎月一回發行
壹冊正價廿錢
全國無郵送稅

通信女學講義錄

第壹卷

女學雜誌社

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

通信女學發行の主旨

女學雜誌社　巖本善治

當今女子教育の說、甚ど隆んとなりて、各地の女學校は、日に日に其數を加へ、此に就て學文する女子も、亦た月々に多くなれり、此摸樣にては、今四五年の內には、女學の進步非常にて、おさ〳〵男子にも劣らざる有爲の女流を、多く出さんは勿論、婦人一汎の有樣必ず一變して今の如き交際にては、事足らざるに至るべし、故に今日に於て、尙は學文せざる貴孃方は、一日も早く學校に入りて、一と通りの修學を爲し決して時勢に後れざる樣に勉めらるべし、之れ甚だ大切の事なり、然るに、既に一家の妻となりて、家事向万端を取扱はるゝ方々は、固より學校へ通はるべき餘

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

暇もなく、又ゆる〳〵と讀書さるべき便利も少かるべけ 二
れば、此樣の人々が、別に學文さるゝ方法なかるべからず、抑も、一家を脩るには、家內衞生、家內經濟の事を初として、母親たるの覺悟、育兒の心得などは、是非とも學び置かでは相成らず、特に世追々開化して、交際の有樣も變化する今日に當りては文學理學の一班より、歷史地理の大畧、及び、西洋女禮式の一と通りを承知せざれば、大なる辱を受ることもなからん、故に此度なゝる妻君母親たち乃都合を計りて、通信女學と申す仕組を設け、家內に居ながら、少々宛、の餘暇を竊みて、學文さるゝやうの法方を備へ、二三年にて恥かしからぬ程の學力を得さするやう、教授すべし。

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

畧則

通信女學は、月々中本六十頁以上の講義録一冊を出版す。

右講義録には、女子生理、育兒心得、家内經濟、女藝案内、萬國史畧、文學一班、理學一班、西洋女禮等の諸科を講述し、且つ、問答叢話の一欄を設置て、右講述の上に付き、質疑を寄せらるる人々に應答し、又婦女學文の心得、其外、諸般の有益なる事件をも書載すべし、尤も右諸科講述の終るを待ち、漸次に、尚更に高尚なる學課を教授す。

右講義録の讀者にて、文意事理等に關して、質問を寄するを得、郵券封入の上、右質問を送る時は、可成速に應答し、尚が人に示して益ある分を、問答欄内に収む。

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

人生尤も樂しきものは丈夫なるにある事

特に女方が躰を丈夫にすべき必要ある事

○女子生理（第一回）

世の中にて最も樂しきを何ぞと問はゞ、色々の答を爲す人もあらんが、先づ身躰の丈夫なるが第一なり、如何程の富を得て、立身出世をとも、其身病がちにてあるが、又て斷へず不快の心持ならんには、何等の樂も、徒らとなるべし、特に富貴なればとて、躰が丈夫となるにあらず、躰が丈夫なれば、自然勉强して富貴の身ともなるべき譯なれば、身躰を壯健にすることを、人生最初の急務としてさてる也。

其上、女は、後に人に嫁して、數多の可愛なる子供を擧ぐべき大役のあるものなれば、尚更に躰を丈夫にせざれば、子孫に害を遺すこと甚だ大なり、母親が病身なるか、又は、甲弱

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

生理學の大切なる事

いき爲に、其兒とも、生きながらの弱身者となし、一生を不愉快に送らしむるヿ、無慈悲の至と云ふべし、故に、女の方々が、其身を壯健にするも、啻に其一身の爲のみにあらず、大切なる子孫の上にまで、大なる關係を及ぼすものと知るべし。

男女ともに、其身躰を大切にして、壯健丈夫になるとの必要は、畧ぼ右に述ぶる如くなるが、偖て如何にせば、壯健にもなり、又丈夫にもなり得べきやと云はゞ、先づ、生理學と申して、身躰一切の事に關する學文の大畧を知るヿが緊要なり、人々が僅なる道具を使ふにも、畧ぼ其道具の組立を見て、其用ひ方を悟りたる上にて、使用せざれば、乍ちに

六

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

本篇の目的

して之を傷むるならん、況して萬物の第一たる此の靈妙の大器械とも云ふべき身躰を、能く保護して、世を送らんとには、是非とも、此躰の組立より、其の生長、營養、の摸樣等を知らざれば不可なり、生理學の大切なるは、即ち之が爲めなり。

本篇の分別

然るに、此には、生理學の惣躰を說くべきにもあらねば、男女に通ずる一般の生理は、それ〴〵の書籍によりて承知すべきものと定め置き、以下には、先づ女のみの特別に心得置くべき箇條を、簡易に講述すべし。

然して、女のみが心得置くべきものにも、亦數多あれども、大畧之を五章に分ちて說明すべし、一に云く、月經の事、二に

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

云く、懐妊の事、三に云々、出産の事、四に云く、産後の事、五に云く、雑件の事。

第一章　月經の事

石婦と云ふものは殆と有るまじき事

子供を擧くるハ、人生第一の樂なり、然るに、世間にも、石婦など云ひて、一生子供なきものあり、之ハ、生れながら幸福を奪ひ去られたるものなるやと云ふに、元來世上に斯る不公平の事あるべきにあらず凡そ婦人なるものにも、孰れも愛らしき子供を得て、樂をうくるとの出來べき性質のあるものなれども、但だいろいろの差支ありて、終に不幸と見ることとはなるなり。

石婦も産婦となるべき事

故に、俗に石婦と云ふ人々も、若し初より能く心掛て、其躰

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

月經の正しき事

を丈夫にせば、良人の病によりての事はいざ知らず、其身の工合にて、子供を得ることの出來ぬ筈はあるまじ。
先づ、月經と云ひて、月々に見るべき巡りが、能く時を定めて、正しくあらんには、躰も丈夫となり、胎内もよく整ひて、壯健なる子供を産むの力あるべし。

月經によりて女の一生を三代に分つ事

左れば、月經の有無は、女の身に取りて大なる關係のあるものなれば、學者は之によりて、女の一代を三期に分つをなり、即ち、月經を始て見るの時を第一とし、其後引續て正しく月經あるの時を第二とし、月經全く止みたるの時を第三となす。

第一期の心得

先づ第一の始て月經を見る時は、能々注意して之を取扱

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

第二期の注意

第三期の用心

月經よりて女の一身の變化する事

はざれば、測るべからざる害を後に遺すことあり、實際此時の取扱方の宜しからざる故にて肺病を起すものもありと知らる。第二乃引續て月經を見る頃も亦た同樣鄭重に用心せざれば前にも述べたる如く、子供を擧くることを出來ぞ、世に所云る石婦となるの類なるべし、又第三の月經全く止む頃は特に注意して、身躰を大切にせざる可らず數多の病氣は、大抵此の變はり目の時に起るものなり。

娘方が、初て月經を見るは、即ちこれ生れてより最初の變化にて、之より一人前の女となりたることなり、故に此時より、躰も更に發達し、心も大に進歩し、吾ながら大人らしくなりたる樣に思はるゝ者あり。

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

初て月經を見たる後直に婚姻すまじき事

早く婚姻する弊害の事

但し既に月經を見たるときは最早人に嫁付ても宜しきことは思ふ可らず此時よりも。更に生長して躰も心をも熟することあれば大抵月經を初て見たる時より後ち十年を經ざれば人の妻とはなるべからず左れば凡そ二十歳より二十二三歳までの頃をば嫁入の時節となす。

然るに此の年とならざる前に早くも婚姻し當節柄の流行の如く十七八歳乃至十五六歳にて既に人の妻となる様の事ありては當人の身の上は固より産み出る子供の躰とも大に害することあり蓋は大抵二十歳以上とならざれば骨組も未だ固らざる者ゆへ産の時ゝ大なる困難あり子供も亦た無理に壓出されて所々に傷をうくるもの

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

母親は其娘に早婚を為さすまじき事

あり。

此故に世の母親達は決して餘り早く娘を嫁しづくる如きことあるべからず、世間にて何如に申せばとて、大切なる娘として之が爲に躰を傷めしむるのみか、終には、産後の難みにて不幸にも死する程の事あるに至らせ、尚は生れ出でたる孫は、既に躰に數多の傷をうけ、骨組も甚よはく、一生甲弱はき身分にて世を送る如きに至らば眞に歎くべきことならん、梅櫻の蕾を手を以て無理に押開かば辛うじて一時は綻びて咲ふべきが乍ちにして衰へ去るべし、年頃に至らざる娘を嫁らするは、丁度此の蕾を開く亂暴と同じきことなり。

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

晩婚も亦宜しからぬ事

然らばとて亦餘りに年長くるまで婚姻を延ばすは宜しからず西洋にては成べく遲きを以て誇り三十以上となりて初て嫁入するものなどあり我國にも自然かゝる弊に走り過しては亦不可なり斯く年晩く婚姻して初て子を擧くるときは難產が多きものなり特に其子が生長して十分の成人となる頃は其身既に老衰すべし斯ては樂も自然薄きものなり

月經の定不定の事

月經は每月一度づゝあるものにて其正しきは即ち二十八日目每にあり尙其尤も正しき者には時刻をも違へず起ることあり然れど亦或は三週間に定りて來ることもあり躰の弱き人若くは病などあるときは固より斯る定りは

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

月經のある年限の事

寒暖よりて月經を見るに遲速ある事

なきことなり而して此の月經の正しき人は子を擧くること甚だ確かなれども其不規則なるものには多くは其力あらざるものなり。

且又月經は大抵三十年の間のみあるものなり故に十二歳にて初て之を見たる女は四十二歳に至りて止むを常とす但し中には尙更に久しくあるもあれども三十五年間よりも長きは最だ稀れなり

偖て月經を見るの遲速は氣候の寒暖職業の忙はしきと閑なると等に由りて相違ありアビシニア又はインドの如き暖なる土地にては月經を見ること甚だ早ければ十歳十一歳にて旣に嫁となりて子を擧ぐる者あり其順を以

一四

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

繁閑によりて月經を見るに遲速ある事

て年の老ゆることも割に速なれば、三十歳にして既に老婦人たるの心持ありと云へり然るに羅士亞の如き寒國にては、月經を見ること甚だ遲く、大抵二十歳乃至三十歳にして初て起ることゆへ、六十の年に至りて尚は子を擧くる嫁もありと云へり左れば我國内のみにて之を調ぶるも九州四國邊の人は奥州北海道などに住ふ者よりも月經を見ること早きものなり。

又職業にて忙はしきか、躰を使ふことの烈しき人には自然月經を見ることも遲く平生怠り勝にて躰を遊ばせ置く人には、甚だ早きものなり、故に同ド學校に居る娘子方にも、能く運動して、身躰の活潑なる人は自然月經を見ることも遲

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

けれども、因循として起居重々しく兎角家にのみ閉ぢ勝なるやうの人は意外に早きものなり。月經の時出る者は通常血と云ふものとは少しく異れり、丈夫なる人の下すものを見るに血の如き塊はあらず然れども其色は清く赤くして指を切りたるとき出る血と畧ぼ似たるものなり、然るに若し此れに塊まりあらば即ち躰に異常ある兆にて下す時に痛を覺ゆるのみか此樣の巡りある間は、子を宿すべき力もあらぞ、故に斯る時には、成べく速に醫師の診察を請ひて、早く治療すべし

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

子供の育て方に付て心得べき事

○育兒心得　（第一回）

問。子供の育て方に就て、色々承り度、追々御教諭を願はるべく候や、

答。出來べき丈は御答可致、從來自ら經驗したる事を成べく平易に申上度と存候、先づ子供衆を丈夫に育つる法方の事、子供の病氣の兆候の事を初として病氣らしく見ゆる時速に取扱ふべき心得の事、及び危篤の際取敢ず治療する仕方の事、醫師の來る迄に暫時介抱する法方の事、並に、傷怪我の直し方、子供の看護の心得等は固より病身なるを丈夫にし、箇弱きを強くし、色々の不養生を避くるの法法等に至るまで御話致度と存候若し之に依りて幾

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

分か御心得の助となりて御子供衆が壯健に成人あらば、即ち我國後來の人民が丈夫となることにて甚だ喜ぶべき儀と樂しみ申候。

問。只今御話の如き事柄を承知するは母親たる私共の爲すべき務にて候や此迄左樣の事とは心得申さず頓と其の大切なる所以をも承知不致候。

答。從來の婦人方が右樣の事柄を御承知なかりしは眞に遺憾の事に候凡そ子供を丈夫に育て上げて之を立派の人物とするは父母雙方の責任には候へども取分け母親は始終家内にあることなれば其責任も亦更に重く特に幼き間の介抱は母親次第にて何如やうとも成るべき者

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

に候植木屋が一本の梅樹を育つるにも、又百姓が僅かなる野菜を作るにも並大抵の艱難にては無之只だ骨を折りて苦勞するのミか能々其樹や野菜の性質を承知して、時に隨ひ養ひ方を施し虫や病などの附きたる時は手を盡して之を直すなり況して生物の長たる人間の幼きを育つることゆへ其有樣を精しく承知し病氣不快の時の取扱方を心得るなどの大切なる事は勿論言ふまでも無き事と存じ候然るに此迄の婦人方は多く右樣の事に不案内なれバ子供の育て方甚だ宜からず切角玉の如く生れたる者を母の手づから傷つくるやうの取扱もあるやうに思ハる丶なり醫者が命じ置たる通りに子供を介抱

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

本篇講述の順序の事

する法方も知らず甚しきは藥を飲ませたる後より其効能を薄くする樣なる食物を食べさする如き不心得もあり右等は必竟前に申す如き事柄を承知なきよりの誤なれバ婦人方が先づ育兒方法の一と通りを心得らるゝハ甚だ大切と存じ候。

問。承りて漸く了解いたし候、然れは、何卒其の一と通りを順々に御教諭願度候が其順序をだも存じ不申何如樣に質問して宜きや不案内に候先生にハ先づ何のやうに御問申せは御都合に候や。

答。左樣にて候然らは先づ出生の時より以後所云る赤子の間ハ取扱方を第一に申上げ、次に子供の間の育て方

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

を御話し致し、而して後ち、童兒と女兒との相違に依りて扱ひ方の異る所以など相述べ度候。

問。然らば先づ赤子の生れたる節、産湯を使はする所より御尋申上度候が、近頃色々の事を申すものあり此行水は冷水が宜しと云ふもあり否な矢張り溫湯ならでは宜しからずと申す者も有之候何れが赤子の爲に相成べくや伺度候。

産湯に冷水溫湯の何れを用ゆべきかの事

答。西洋にては往々冷水を用ひ之にて赤子の皮膚を強くするなど申す者も有之哉の由なれども右は甚だ慘酷なる致方にて宜しからず候、之が爲に赤子の目及び肺に焮衝を起させ、鼻を詰らせ臓腑を弱くするなどの害あり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

行水に石鹸を用ゆべき事

と申候然れども、又餘り熱き湯も宜しからず、之が爲に皮膚を弱くして、後に病にかゝり易からしむることも有之候故、所云る微溫湯と申すを最上と致候、尤も夏は成べく微溫にし、冬は稍や熱くし、大抵華氏の九十度乃至九十二度程の溫度と爲すを規則と致候、而して此時に用ゆる水は、雨水を最良と致すことにて候、

問。此時石鹸を用ゆることは、何如に候や。今に尙は行れさるやうに思はれ候。

答。甚ど宜しきことにて、從來の如く、只だ繿褸にて烈しく摩擦るのみは面白からず候、尤も此時に使ふ石鹸は、決して下品を用ゆべからず、カスチルソウプと申して、上等の

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

行水ニフラン子ル及びスポンジを使用すべき事

品あり之が宜しからん尤も赤子の皮膚の特に密かなるには亦たリスリンソウプと云ふを用ゆる樣に致度候。

問。此時襤褸を用て拭ひ候が之にて差支なきことにや承り度候。

答。成べくは。フラン子ルか、スポンジを御用ひの方宜しからん尤も初は、フラン子ルにて石鹸を用ひ御拭きなさるべし終に至り、スポンジにて洗はるれば皮膚の間の不淨物も悉く落ちて、清らかに相成るべく候。

問。或る醫師の說に、此時酒ブランデーの類にて赤子の頭を洗はゞ寒冒の患なしと申し候か右は實際効能あることに候や

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

行水の時頭に酒類を浸すと云ふ說の誤なる事

答。夫は全く誤にて候若し酒類を用ゐれば其の蒸發するが爲に頭を冷やし、反つて寒冒の患あるとも決して之を防ぐの効能などは有まじく候。

行水の折上皮を洗ひ落す事

問。赤子の躰に、軟かなる粉の樣なる物附てあり、之を取除くの法方、從來の儘にて宜しきことに候や。

答。左樣此迄は、中々一二度にて落ち申さず段々に洗ひ落すことなれども成べく早く取去るが宜く若しフラシ子ルにて洗ひても落ちざれば、豕の脂か新しき牛酪かを塗りて、後ち洗ふが宜からんと存候。

問。此外、右行水の時に心得べき箇條も候はゞ御教諭願度候。

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

行水の前よ頭を潤す事及び特よ注意して洗うべき場所並に之を拭う心得の事

耳をよく拭べき事

撲粉に用ゆべき品の事

行水に鹽を混する事

答。色々有之候へども先づ赤子を湯に入るゝ前に少しく頭丈を湯にて浸すべし既に湯に入れたる後は全躰を遺ちなく能く洗う中にも脇の下股の間股根等を特によく洗うべし洗ひたる後は乾きたる大手拭を溫かに被せて潤ひを吸ひとらすべし手荒く擦りて拭うやうの事ありては宜からず候。又行水後両方の耳を乾きたる手拭にて能々拭うべし之に注意せざれば耳を害することあるものに候。既に拭ひたる後それ〴〵の所に粉を着くるべし此には白粉五倍子の粉などを用ゆるもあれども宜しからず矢張り小麥の粉が最も良きものに候。斯て毎夕行水させ二ヶ月の後に至れば湯の中に少々塩を混ずる法あ

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

衣物手拭を曹達にて洗うまじき事

り、斯すれば、其子の皮膚を強くするの効能あるやうに思はれ候。

問。赤子の衣物及び手拭につきて何か、差當り心得の事有之候や。

答。左様にて候、先づ、此等を曹達にて洗濯するは、甚だ宜しからず、之が爲に、赤子の皮膚を傷め、皮の剝げるやうなる事あるものにて候。

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

文章の用

往古は言文一致

○文學一斑（第一回）

○和文の教へ

總論

凡そ國あれば人あり人あれば言語あり其言語を記して日用に便し後來の資となす此を文といふ。然ば言辭と文章とは只口にのぶると物にしるすとの別こそあれ原二途あるべきものならねど世の移り變るにしたがひて文と言との異もいできにけり。往昔は言文二途ならざりけん和銅五年に成れる古事記は稗田の阿禮が述るところの勅語の舊辭を太朝臣安万呂の子細に採摭ひて錄し、ものゝ、よし其序に見はたりき。今の世の文のごとく言と

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

言文の隔離

言文こゝに己がじゝ謬途に入る

語格文法は古今同一

語格文法の事は後段に詳にす

語格文法興りて言文一致に歸す

言文一致して便益おこる

は似もよらぬ体になりにたるは職と漢文の世にもてはやされしより事おこれり。そは漢文ならぬも物かくときは自から漢めきたる方におし移りて通常の言辭とはいよく／＼遠く隔りつればなり。

さて言辭と文章と隔れるよりして文章にも種々の体がいできたり言辭にも様々の訛がおこりぬれば今は言文を一にするは如何も難きわざならまし。然はあれど古より今にいたるまで一定不變の語格文法ありて失ざれば遂には文章の乱れたるも正しき体にかへり言辭の誤れるも直きすぢに歸りぬべし。言語直くして格にあひ文章正しくして法にかなはゞ自から言文も一致して日用の

Digitized by Google

Original from
CORNELL UNIVERSITY

語格文法ハ學ばざる可らず

語格文法を學ばずして國語の妙用を失ふ

西洋各國にてハその國の語格文法を學ぶ

我國に語學文法を教ふる事なかりし故に言文の不便を生ず

便はいふも更なり學術の益も亦大ならん。されば語格文法ハ人皆の勉めて學ぶべきものぞかし。

我が日本の國は「言靈の幸ふ國」とも「言靈の助くる國」ともいひて古人ハ誇りたれど凡その人ハ語格文法を學ぶことをせざれば言靈の幸はひも薄くその助も多からぬことゝなりぬることそ口惜けれ西洋の國々にてハ皆必らず其國の言語をならひ文法をまなぶなり。此ハ然るべきことにして若し學び習ふことなくば自から言訛り傳誤りて言語にも文章にも混雑を生じてその不便一方ならじ。我が日本ハ今この不便に感ずるもの丶如し。細小なる一孤島なるに國々方言ありて容易くハ解し難きぞ多かる。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

土佐國の方言

奥州の方言

信濃の方言

日本國内互に通ぜざる語多し

語格文法ハ不通の語を除き去る

西洋學術の化ハ日本言文の道開くるゝ從ひて國内に徧れし

長曾我部が土佐辭をよめる歌に「けゑく〳〵と、ちふはわこらか、ゑずらしや、ぜドやうしやうちく、よんべきたち、」又奥州の方言をよめる歌とて、いぐひすや初音ぶんだせ、きくべいに、あぜいあかあい、ぶさたゞんべい」又信濃の賤女が山路の櫻をよめる歌とて「いきつ)しまに、つぼみし花の、きつ)ちまに、ぐわ)らりと、さいた、をけとぢのかば」斯る言をいかでか解りうべき。

然ど人々語格文法をだに學ば、この類の不便も取除かれ言交はすにも文かくにも言靈の助け加り、て言靈の幸はいで來めり。いかに西洋の學問さかりに開けゆくとも日本にては日本の言辭と文章との助けによらで用をな

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

學者必ず日本の語格文法を明らむべし

語格文法に暗くば思想を世に示す能はず日用に便ならず交際に缺を生ず

男女均しく語格文法を學ぶべし

すべきかは。然ば世を利し人を益せんと思ふ學者の輩らはいふも更なり通常の人たりとも一わたりは己が國の言辭文章の格法は心得おかではかなふまじ。然るは口して語るは人と人と本對へば言のほかに事の意も知るれど筆して記すは語格文法をおきて事の意を思のまゝに表すべき樣なし。人もし此すぢに暗からば己が思想をあらはすにも道なく日用のことにも便あしく將世の交際にも事缺ぬべし。されば男も女も先まなぶべきは己が國の語格文法うくべきものは文の教へにぞある。

附　方言歌の解○土佐歌なる、けゑ〳〵（これ〳〵と人を呼なり）ちふ（といふ辭）わ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

邦文の躰三種に大別せらる

古の假字は漢字を用ふ

上古の假字文

こら(吾子等)ゑずらしや(いやに思ふ意にてキッイといふことなり)ぜじやう(惣躰といふ辭)しやうちく(精盡るにて事に倦をいふ)よんべ(昨夜)きたち、(來たといふ)○奥州歐なる、いぐひす(鶯)ぶんだせ(打出せ)きくべいに(聞くべきに)あせいあかない(なぜ鳴ぬ)ぶさたゝんべい(不沙汰なことヂャといふ意)○信濃歌なる、いきつしま(徃くとき)きつちま(來るとき)ぐわらり(快く開くをいふ)をけとぢのかば(此土にては桶に箍を用ゐず櫻皮をもてとぢたるが故に櫻といふべきを如此ないへるなり)

○ 文章の種類

吾が國の文章を大別すれば假字文、漢文、和漢混淆文の三種とす。古へは今の世に行はる、如き平假字、片假字はなくして支那字の音と訓義とを假て書たるものなり。萬葉集の歌續日本記の宣命など皆その書躰なるが最も古きは大祓詞、神賀詞の類の祀詞文あり(此は上古より世々に

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

平假字片假字いでゝ漢字の假字癈る

人のいひつたへたるを漢字渡りて後に假字文に寫したりと云ふ。總論に往昔は言文二途なかりきといへるを思ひ合すべし)その後片假字、平假字の二種いでゝ世に便なりければ漢字もて書る假字文は廢れたり。

平假字文の濫觴

さて平假字もて書る文の始は紀の貫之が大井川行幸和歌の序また古今集の序などにやありけん。土佐日記も紀氏の手に作たる假字文なり(この日記は其身を假に女として記したるが其故は當時男子は專ら漢文を用ゐる婦女は尙ほ古よりの風に假字文を屬せしを以なるべし)是より假字文の書つぎ〳〵世に出てその數かぞへ難きに至れり。竹取宇津保伊勢、源氏など云る物語よりして事實を

昔し男子ハ漢文を用ゐ女子は假字文を屬す

平假字の書盛んに世に出づ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

漢文の起原

中古の世公私に多くは漢文を用ふ

古き漢文

漢文にて著はしゝ書籍

和漢混淆文

上古の記を記すに混淆文を用ふ

記せる榮花物語、大鏡等みな假字の書なり。

漢文は應神の朝に漢籍の渡來しより稍〻に世に行はれ奈良の朝以來は國史、律令は更なり詔勅、官符、及び公文、上表、賣買劵、さへも漢文を用ゐたり。其始て書に見えたる最も古きは聖德太子の十七條憲法と伊豫の道後溫泉の碑文なり(道後溫泉の碑は法興六年に建たりと云)又大寶令および古事記の序なども漢文の古きものと云べし。空海の性靈集、經國集、本朝文粹、等も皆ふるき漢文の書なり。

和漢混淆文はその始まり古く古事記の文躰もその中の一つにして古風土記、法王帝說、上宮記の類みな此種の文にぞある。並奈良の朝ごろの墓誌、碑銘等にも多く見ゆ。此

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

混淆文の起れる所以

文躰の起れる所以は漢文にては心に思ふ事を充分に書取れざ然はとて假字（支那字の音訓を假たる者）のみにては事ながくと成行て厭はしければ爲ん術なく古事記の如く漢文躰なる中に久羅下那洲多陀用幣琉之時など和語を挿入たるものありかし。然は古事記の序に「已因訓述者詞不逮心。全以音連者事趣更長」とあるにても知る。遙か後のものなれど小右記、明月記、「山槐記」等もみな此類にして東鏡、將門記

混淆文の種類及びその文躰の書

古事談及び近き世に專ら行はるゝ和にもあらざ漢にもあらぬ漢語雜りの片假字文章も古への和漢混淆文の流とやいはまし。

後世の漢語雜りの軍記等の文は古の和漢混淆文の流亞

此他に又一種の文躰あり華麗なる漢語を用ゐる中に仕

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

今の世に行はるゝ書簡文

本邦の文躰數多くして不便少なからず

文躰の術に歸せざるは學術に妨多し

語格文法に合へて文躰を一に定むべし

る給ふ申す然は候ふ將などいふ邦語を加へたるもの此を俗消息文と假に名くべし。

又和文の漢文なるあり漢文の和文なるあり。今來は假字して書る歐洲文も見ゆめり。文章の種類は如此夥たゞしくして際限なきか如し。此は賛べきことかは。世の不便少なからずして學術進歩の障害是より甚だしきはなからん。然は世のため人のために願ふべきは文躰流暢にして卑俚ならず言辭平易にして鄙俗ならぬ語格文法にも合へる一躰の好文章の早く世にあらはれ出んことぞかし。

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

○萬國史畧　（第一回）

第一章　總論

水陸の分ちの事

吾等が住へる此世界は地球と云ひて殆んど圓ろき形のものあり而して、其全面の三分一は陸にて、三分の二は水あり、陸を東西の二大陸に分ち東大陸を歐羅巴亞弗利加亞細亞濠剌利亞とし西大陸を南北の亞米利加とす、又

兩大陸及五太洋の事

水を五の太洋に分ち、亞米利加と歐羅巴との間を太西洋と云ひ、亞細亞と亞米利加との間を太平洋と云ひ北方の極にあるを、北極洋と云ひ南方の極にあるを南極洋と云ひ亞細亞亞弗利加と南極洋との間に在るを印度洋と云ふ此等の洋中には所々に多くの島あれども太平洋中に

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

六大洲の事

は、墺刺利亞の近邊に於て特に數多の群島あれば別に之を稱してヲセアニカと云へり。

世に六大洲と云ふは即ち前に記したる亞細亞亞弗利加歐羅巴、墺刺利亞及び南北の亞米利加なり、而して此の六の大洲には皆それ〴〵に數多の國ありて人民の風俗皆各相違せり。

六大洲に多くの國々ある事

先づ、亞細亞には荒比亞、土兒古、印度巴斯。支那日本等あり歐羅巴には英吉利、佛蘭西伊太利日耳曼西班牙等ありて羅士亞は亞細亞歐羅巴の二大洲に跨る又亞弗利加には名高き國もなけれど黑人八千万人ありて且つ大なる砂漠あり亞米利加には合衆國あり英領カナダありヲセア

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

國民によりて顔色の異る事

野蠻の民の事

ニカには、墺刺利亞の外に、ジャバ、スマトラ、ボルネヲ、等の諸島あり。

此の國々に住居する人民は皆互に相違する所あり就中特に目立ちて見ゆるは、顔色の同じからざることなり、亞米利加の土人は、枯れたる木の葉の如く薄黑く、支那日本等の人は、ヲリーブの如く黄ろく、天竺に住へる印度の人は、煤の如く鳶色にて、亞弗利加の黑人は色固より黑く、歐羅巴諸洲の人、及び、亞米利加合衆國邊の人は甚だ白し。

又、平生泥若くは棒竹などにて造りたる家に住ひ弓矢を以て野獸を獵し、漸く食物を得て、暮らすものあり亞米利加の土人、亞弗利加黑人中に多少、亞細亞人民中の幾分、並

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

に、チセアニカ群島中の住民の如きは皆な此類なり之を野蠻の民と云ふ。

未開の民の事

之より稍や進みたるは半は石と泥とを以て家を造り偶像を信じて書籍を讀まず暮し方稍や宜けれども平生慘酷にて爭を好むものあり亞弗利加の黑人及び亞細亞の人民は多く此の類なり之を未開の民と云ふ。

半開の民の事

更に進みたるは可成の家に住居し學文技藝も畧ぼ備はりたるものあり支那印度土兒其の人民は此の類にて我國も亦た近頃まで此の仲間に屬したり之を半開の民と云ふ。

開化の民の事

以上の諸種に優りて學術技藝の尤も進歩し暮し方住居

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

二人の先祖の子孫各地に蔓延したる事

等の尤も立派なるは、即ち歐羅巴諸州の國民、及び北米合衆國の人民にて、之を開化の民と云ふなり。國々に住まへる人民は此の如く互に相違すれども、其の大原に溯りて考ふれば、始は、皆な殆んど相似たるものなりしのみか、多くの學者の論ずる所に據れば、開闢の後、先づ二人の男女ありて、之れよりして數多の子孫を得て、遂に今日の如く、世界中に充滿する所の人とはなれりと云ふ。蓋し、太初、亞細亞に此男女出現して、其子孫いよ〳〵增加せしかば、次に亞弗利加に渡り、其後、また歐羅巴に渡り、最後に至りて、亞米利加に移つりたるなり、此故に、万國の歷史を記する者は、筆を亞細亞に起すを以て通常とす。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

アダム、エバ埃田に出現の事

第二章　人祖出生及び大洪水の事

昔し亞細亞の西方にイウフ・レーテスと云へる河ありて、其近くに埃田の花園と傳ふる者ありけり神は始にアダム、エバと云ふ二人の男女を造りて此花園に住まわせ給へば常しへの花盡きせぬ果園中に滿ち充ちて樂しきを限りなく平生勞せずして暮したるに或る時神の命に反きて禁制の樹の實を食ひければ遂に此樂園より追出されてイウフレーテス河の傍に來り日夜勉勞して漸く世を送ることはなれり斯て二人が間に子供出で來之にも亦た數多の子供を得て子孫甚多くなれり。

然るに此等の人々追々惡に陷りて止まざれば神は特の

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

大洪水の事

外に怒り給ふて、終に之を罰すべきことに定めまし、彼の大洪水を起して、此種の人を盡さんとは爲し給ふ、然るに玆にノアと云へる人の一族は斯る不義姦惡の世に立ちて、獨り淸淨潔白の行ありしかは、神は此一族にのみ豫ドめ御意を告げ知らせ給へり故に、ノアは最と大きやかなる船を造りて、之に一族を載せ、又た草木禽獸の一と通りを入れて、相待つ間に、一天悉く雨を降して、全世界至る所として皆な水の下に沒したれは幾億万の人々は此時悉く死して、ノアの一族のみ世に殘りたり、左れは今日地球の上に散りて在る數多の國民は皆な此の一族よりして降りたるものと云へり。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

右一章大意の事

ノアの船難を免たる後の事

右一章の物語りは西洋にて有觸れたる開闢の歴史なり、精しく其意を推して考ふるときは必ずや文面の外に意味ありて最と面白き理の存するやうなれども茲には之を細かに論せず後に文明史と云へるを講述するとき述ぶべし。

第三章 ベーベルの塔及人民四散の事

大洪水は十一月に始まりて翌年の三月漸く治まりたりノアの船はアラヽットと云へる高山の巓に掛りたれば此時一族恙なく山を降り數多の草木禽獸も亦それ〴〵の所を得たり。

ノアに三人の子あり之をシエム、ハム、ジヤフエスと云ふ、

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

ノアの子供の事

父と共に、アラヽツト山の南なる、サイナルに行き、彼のイウフレーテス河の岸に沿ひて、住居を定めたり。

斯て、此處に數多の人民增殖したるが、昔し、神の怒に觸れて、大洪水ありしことを聞傳ふる者は皆な神罰の恐ろしきを思ひ、復たとや斯る不幸のあらんかを掛念し、共與に相談

ベーベルの塔を建る所以の事

するやう、復び大洪水のあらんとき、吾等が逃れ入るべき場所あらんには、少か心を安んぞべしと、則ち高さ天にも達すべき程の塔を建立することに決しぬ、ベーベルの塔と云へるは即ち是れなり。

塔建築の事

相談一決したれば、イウフレーテス河の東の堤に、地形を取りて、玆に、日光にて燒きたる瓦を積み重ね、泥又は瀝靑

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

の類にて、瓦の間を固め、追々に積み上げて、餘程の高さとはなしたり、然るに初は是程もせば雲にや達すべし、箇程にせば太陽にも星にも近づきやせんと、思ひ圖りたるに高く積上るに隨ひて雲も日も星も彌よ高くなりて、中々に之に近づくべくもあらず、其間に。思はざる一珍事ぞ出來したり。

或る時仕事師等は、平常の如く、働き居たるに、雙方にて申す言語不通となりて明に聞こえず、瓦を持ち上れと呼べば下に在るもの瀝青を持ち來り瀝青を之へと叫ぶに瓦を揚ぐるなどの不都合多かりき。

(思ふに、之れ、餘りに高くなりたれバ、空氣薄くして、音聲れ通せざりしならん「高山に登る

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

建築を止めて旅行する事

各所に分れたる人々の事

か、又は風船にて遥かに登るときは、今も尚ほかゝる經驗多きものなり）

人々大に驚き、此は神の御怒の兆にもやとて急に普請を止め、此上は吾等四方に散りて遠近に離れ住まわんとて、誰彼申合せて少しづゝの組を爲し四方に向ひて旅立したり。

左れば、シエムの子孫は主も、イウフレーテス河の近邊に分れ、ハムの子孫は西の方に渡りアフリカに進んで茲に埃及と云へる大國を造り、ジヤフヘスの子孫は後に希臘と云へる國の方に渡りたり。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

禮儀を以て親睦を制する事

○西洋女禮（第一回）

古語に、禮は和を以て尊しとすとあり、世に禮儀と云へる片苦しき氣なる者を用ふるは、何の爲ぞと申すに必竟人々が末永く親しく相和して、交り得んが爲めなり。凡そ人の交際は餘りに親し過るよりして知らず識らず不厭慮の取扱も出で來。思はざる不愉快を感ド合ひて睦ドさの破るゝ事あるものなり。故に親しき間がらにも、平生此の禮儀と云へるものを用ひて互ひの氣儘を制し、たゞ〳〵相樂しみ和するのみにて厭なる思の起らざるやうにするとなり。

然るに、禮儀の主旨は固と右にも述ぶる如く、和を尊しと

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

禮儀の徒らに窮屈なるは宜からぬ事

西洋の禮儀を心得べき事

して要する所相親しむその厚く且つ永からんを祈るの外あらざれば禮儀を餘りに片苦しくして之が爲に反つて雙方の睦じさを失ひては成らず其邊の心得甚だ大切の所にて、禮儀の世の中に効能あるを否とは、實に此一事にて相分るゝものなり然るに支那の禮記に教へ、我國の小笠原流に定るやうなる禮儀は當今の時世に對しては、少と窮屈すぐるやの趣あり追ては必らず之を改良して、西洋風の禮儀を之に折衷するの日あらんを甚明なり。特に、外國人との交際日に日に隆んとなれば假令ひ自らは禮記の教を固守し、又は小笠原流の定を奉ずるにもせよ西洋人と交るとき若くは西洋風の宴會などに參りた

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

本編講述の次第の事

る時は是非とも曲げて西洋の禮儀を取らでは適はぬ故に今の時に於て西洋の禮式を學ぶことは甚だ大切なるが中にも取わけ此様の事を重しとする女流社會は特に之を心得置かざるべからず。

故に此より下に其大畧を講述すれども、西洋の禮式は固と男女に依りて甚しき相違あることあらぬ大抵は皆な男女の雙方に通じて彼此に格段の區別あらざるものなれば左に述る所も。亦た女禮として見るべき者のみには限らざるべし然れども成べくは女流に關はるものを先にして説明し男女の雙方に通じて一汎の禮儀となれる者の如きは往々之を畧することあるべし

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

第一章　婦人紹介の事

人を紹介する心得の事

未だ知らざる人々を紹介し合はさんとするには、常に二箇條の心得を要す、一に云く、双方の人々は、其知交となるを好むや否や、二に云く、此の二人は、互ひに相ひ親睦し得べきものありや否や。

婦人と男子とを紹介する事

婦人へ男子を紹介するは宜し、決して婦人を引て之を男子に紹介すべからず。

年齢によりての紹介の心得の事

婦人を婦人へ紹介し、又は、男子を男子に紹介するときは、常に年少かき人を、年老ひたる人へ引合はすべし、

婦人へ男子を紹介する事

婦人へ男子を紹介せんとする時は、必ず先づ其婦人の好むや否やを聞くを要す。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

婦人男子へ紹介されたるときは握手の禮を行はざるを法とし只だ少しく腰を屈むるのみにて止むべし特に歐羅巴の太陸地方にては婦人が男子と握手するは余程に親密したる人に限ることとするなり。

朝の來客中偶ま未だ知らざる兩人落合はゞ兼て此兩人の望みなかりし以上は主婦人たるもの決して之を此時に紹介すべからず但し右兩人の客は一方の未だ知らざる人を主婦人の知り人たることによりて信じ極めて心安く談話すべし此際徒らに無言にて嚴肅にあるは宜しからぬものなり。

友人の家に落合ひ數多の客の中に見留めたる人ありて

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

紹介を經ざる人に腰を屈すまじき事

後日他所にて之れに面會するも腰を屈むるの禮を爲すべからず凡そ腰を屈むるは即ち既に知り合ひたる上にて爲すべき禮儀あるに、未だ紹介を經て交はらず、只だ顔を認め合ひたる如きは尙ほ之を知り人となすべからざれば也。

同行の際の紹介の事

兩人共に逍遙するとき、一人の知り人來り會はせて、之に伴ひ同行するとも、之を一方の友人へ紹介すべからず、其禮は恰かも彼の朝の來客を待すると同樣なるべし。

夜會舞踏會の紹介の事

夜會舞踏會の節は、主婦人たるもの、雙方の承知を經ずして直ちに兩人の未だ知らざるものを紹介し合はするを得べし尤も貴女に紳士を紹介して、之に相ひ踏舞せ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

しめんとするには、先づ貴女の好み何如を聞きたる上にて引合はするを宜しとす。

兄弟若くは子を人に紹介する事

婦人が其兄弟を、母が其子を人に紹介せんとするには、一方の人の身分、自分よりも遥かに、立優りたる者にあらざる以上は、預め其人の心を聞かず、直ちに之を紹介するを得べし。

友人を友人へ紹介する事

友人の家に會合したる人々が、其友人を、一方の友人へ紹介するは、妨なしと雖も、成べくは、主婦人の手に、之が紹介を托するを宜しとす。

舞踏會にての知人へ對する禮式の事

舞踏會に於て、只だ共に踏舞する爲に紹介されたる兩人の男女は、固と一時の知己に過ぎず、故に後日其男子が

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

彼の女子に對して腰を屈むるの禮を爲すべき權なし、故に若し男子が斯る禮を行ふとも、女子は之に禮を反へさゞるも不可なし。

紹介の例語の事

紹介する主婦人は、大抵〝Allow me to introduce Mr. Iwamoto-Miss Inouye, Mr. Iwamoto.〟等の語を用ゆるを、例とす。

○以上は、即ち婦人が面り紹介し、若くは、紹介さるゝ時の禮あり、其外書狀に依りて紹介さるゝの禮あり、之を次に述ぶべし。

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

講義錄紙數增加の事

○問答叢語

問。一ヶ月六十頁程宛の御講義錄を拜見するのみにて、一二年の內に一と通りの女學を心得る樣に相成り申すべきや少しく掛念被致候。

答。御尤の疑に候、編者の志は、讀者が增加して實費丈の償を得候はゞ追々に紙數を增し、一ヶ月間の講義をも隨て更に多くすべき積に候へば、何時迄も月に只だ六十頁丈の講義とは思召さゞる樣致度候。

問。然らば妾等は只だ此講義錄のみを拜見して安心致居苦からざ候哉、伺置度候。

答。此も亦申上置度處に候、必竟貴君方に餘暇のあらせ

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

自ら研窮を請ふべき條目の事

られざる内に大畧の女學を御習せ申度と存候事ゆへ成べくは、此講義錄中に必要の事件を述べ盡くしたくとは存候へども、紙數には到底限のある者に付、志丈ども十分に盡し得まじく候、故に、講義中に時々何々の書を參看あらば更に宜しからん、何々の事を學ぶには何々の方によりて學ばるべしなど心付を申すべきに付、讀者は成るべく暇を造り出して、此外にも、自身に研窮あるやう致度と存候。

問。左樣相願はゞ、眞に妾等の幸に候が御講義中の事柄に付き、又た其外の事件に付て時々質問を寄せ申すべし、其都度答を賜はるべく候や、

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

答。是は、規則中にも申置たる如く、固より御答可致、特に其問答中人に示して益ある分は此の問答叢話の部に相掲げ度存候尤も質問は總て二錢の切手を封入して答文の郵送費と成さるべく且つ講義外の儀に付ての質問は、御答の延引する事及び十分に御答せざる事も可有之是は兼て御心得あり度存候。

○男女同權　西洋の文明が入り來りて世の開化するに隨ひ、男女同權と云へる事を新に申出でたるものあり之は明治六年の頃初て世に喧しかりし議論にて其後も引續き所々の論者の口に載せらるゝが之に依りて大なる

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

誤を生ずることもあれば眞に心得ざるべからず抑も男女權を同ふして何事も同樣に爲せなど云へる如き過激の議論は西洋に於ても餘り聞かざる所にして只だ一二の學士が之を論じたる以來多少の婦人が之を奉じて主張する程に過ぎざる事なり若し天の人を生じ玉へる所以を考ふれば男女固より等を異にすべき筈なく皆な一樣の人間にて相劣る所なきものなれば之を男女同等なとゝは稱することなれども之が爲に男女は萬事の權を同ふすべしと論じ男が政事を執れば女も之を執るべき權あり男が投票の權あれば女も無論速に之を受くべしなど主張するは眞に過激極りたる說と云ふべし世の婦人方

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

は決してかゝる説を浮と信じて暴りに輕々しき行などありては相成らず女子も亦男子と同等の人類なれば男子の輕蔑は受くべからず男子の玩び物とはなるべからずと、固く守る所あらんは大切なれども然らばとて之と同樣の權力を直ちに世の中より收めんとするは誤なり此覺悟眞に大切にして、髮を容るゝ程の心得違にて大なる害を起すものと知るべし

○書籍案内　婦人の心得となるべき條目を何くれとなく悉く書付たるは進藤直溫氏の女子必讀なり之には子供の育て方、教育の法方等は固より娘となり妻となるの種々の心得及び、いろ〳〵の女藝の事などの教あり。又子

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

西洋編物の事

供の育て方及び産婦の心得などを主として書きたるは、船越鼎太郎氏の産婦小兒攝生法及び岩田文之助氏の小兒健全示要など宜しからん。又家庭の教育と申して子供を學校に送るまで家内にて色々に教ゆることは甚だ大切なるものなるが、其心得方を平易に說きたるは小池民治高橋秀太郎氏合著の家庭教育を善とす。女の人の傳紀を讀むには、今川肅氏の賢女脩身事蹟若くは、坪内雄藏氏譯の朗蘭夫人傳などの外に餘りに類書なし。

○西洋編物　西洋の婦人は談話の間にも、手にて編物を爲し、夫の靴足袋手袋は固より子供の帽子肩掛、飾り物引きの類を悉く手づから造ることなるが我國の婦人は、暇あ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

れば緩々として長煙管を弄び、又は無益なる冗談に尊き時間を消すやうの事あり眞に憾むべき相違と云ふべし、故に婦人方は成べく編物の編方を習ひて一つには心の慰みとも、二つには右に云ふ如く尊き時間を利用して、種々の便利なる品を製するを可とす、依て此講義録の女藝案内には、右様の教授をも爲すべき積なれども編方は文章の上にて記したるに依ては眞に悟りがたき者由へ、成べくは、其近邊の知れる人に就て學ばるべし此頃は編物の教授所々に行はるゝより之を心得たる人は隨分多かるべし特に耶蘇教宣教師の妻君は、多く之に慣れて居玉ふときけば、就て學ばるゝも宜しからんと思はる。

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

○社告

通信女學講義錄發行の儀毎月十五日と定め日曜日の節は其翌日發兌の事に改め申候に付自今右定日に出版可致候

右講義錄は尋常の雜誌類とは相違いたし初号より引續て購讀を請はざれば効能なき儀に付隨て印刷部數をも讀者の數に應じて相定め申すに付総て前金御拂込なき間は其注文を印刷部數の中に入れず配達致べき儀にも無之候に付凡て注文は必ず前金を併て送致あり度候

因て右講義錄第一卷の代價御拂込の方にて引續き購讀あるべき向は至急代金前送あり度候一冊は定價二十錢にして郵送税を要せず半年分前金は壹圓に候

女學に關係の書類にて東京書肆の出版に係る分は注文次第取次ぎ郵送可致候因て右御委頼の向は書名に定價の金を添へて送附ありたく郵送賃は大抵其内にて辨ずるやうに相斗らひ可申過分に入用の節は改めて其送附方を御報可致候

●女學雜誌　毎週一回 各土曜日出版

此雜誌は婦女子の心得となるべき事柄を一切書盡したるものにて社說には當今の時勢に於て女の學び置くべき事件を信切に教喩し又有觸れたる弊害は厭慮なく之を諫め當に務むべき女の責任は綿密に之を勸め專ら女流を開化に導くの案內を示し論說には我國にて有名なる學者新聞記者等の女に關する論話を請ひ又外國の書籍雜誌等より出でたる有益の文章は抄譯して相揭げ特に女學に關し有名の人々が演說さるゝ時は必ず之を速記文にて寫し取り載そるに付假令ひ之を傍聽せざる人々にも紙面にて座ろに之を耳にするの愉快を覺へしめ叢話にはすべて女のたしなみとすべき事柄を最も平易に談話するとす故に母親が子を育つる心得、妻が夫に仕うるの道、娘が學校にて勉强する方法等を初として家內經濟、家內衞生、等に大切なる教又は縫針、洗濯、炙燒、料理の案內若くは交際とりなしの禮式、男女つきあいの用心讀書運動の要目等は皆

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

遞信省認可

な此處に於て懇ろに教示すべし次に批評ハ時々に出版する女學に關係の新書の大意を示し且つ之ハ讀て宜きもの之は悪きものと一々に評して讀む人の便利を計り佳傳ハ古今東西にて有名なる婦人ハ固より凡ろ貞操孝烈にして女の鏡とすべき女流の傳記ハ皆甚だ高尚の文に書つゞり尚は面白くして有益なる女の小説を一つ宛副へ專ら實際ょ女の手本を現はし寄書には各女學校生徒の文章及び有名なる女流の人々の投書を集め尚折々は編者の評をも附し雜報にハ內外に起る女學女事の景況を一切取集めて座がら滿天下の女の景況を示し讀者をして爲に勵み爲に喜ぶび時勢の赴く所を容易に知らしむるの工夫を爲し其外珊瑚の玉ぞ稱する女學上の金言を每號五つ六つ宛相載せ西洋の有名なる學者詩人が咏出さる詩又は文章の中丸も面白き英語の辭句をあちこちに挿入し每語高尚細密なる圖畫を入れ折々と各女學會の景況を特別廣告として細かに報告し尚は女論に關する點取文中優等なるものを附錄として載せ文章はすべて平易優雅にして不清潔の文字ハ一句だも紙面に登さゞる等を此雜誌編輯の規則となす

一册五錢郵稅一錢府內無稅。 十册前金郵稅共 五十八錢

束髮案內

渡邊鼎君著

田口卯吉君結髮沿革附錄○和崎義路君校○巖本善治君跋

美製小本八十頁細圖入 定價十五錢郵稅四錢也

當今束髮流行の折柄其結び方不案內の婦人勘からず此書は日本婦人に適する束髮二十餘種の結び方を丁寧ょ教へ一々細圖を附して信切に案內すれば何如なる僻遠の地に在りて束髮の風を知らざる人々も之に依て容易に自ら試るを得べし特に田口卯吉君の論文束髮會の規則其外をも添へたれば結髮改良に志ある人々は宜く一讀あるべし

○但本社出版の書籍は定價ゟ一錢も割引不致候事

東京新橋日吉町八番地 女學雜誌社

發行所 東京京橋區日吉町八番地 女學雜誌社

持主兼編輯 巖本善治

印刷 森田豐

東京共遊舍印行

Digitized by Google

Original from CORNELL UNIVERSITY